科目名（英）	社会の理解 Comprehension of social system	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	黒澤　芳恵
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜　3限

【実務経験】**（担当する授業科目に関連した実務経験）**

【授業の学習内容】**（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか）**

本科目は高齢者や障害者の生活全般を支援する諸制度について学ぶ科目であり、利用者の生活を支えていくという観点から、必要な知識を身につけることを目的とした授業を行う。利用者を取り巻く環境や社会背景、日本の社会保障の基本的な考え方や具体的内容、サービス利用にかかわる制度・施策等について理解を深めてほしい。また、講義や演習を通して一人ひとりが考え、それぞれの法制度について実践の場で通用する知識として身につけてほしい。

【到達目標】

個人、家族、地域、社会のしくみと、地域における生活の構造についてを学び、生活と社会の関わりや自助・互助・共助・公助の展開について理解できる。
日本の社会保障制度の基本的な考え方としくみ、歴史や変遷について理解するとともに、社会保障制度の現状と課題等を学ぶことができる。
高齢者に関する福祉制度の基本的な考え方としくみ、介護保険制度の内容を理解し、高齢者福祉の現状と課題等を学ぶことができる。

【使用教科書・教材・参考書】

・「介護福祉士国家試験ワークブック2022上」中央法規
・「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022」中央法規

【授業外における学習】

ワークブックや国試ナビの次回の範囲を読み、予習をしてくること。また授業後もノートやプリントを振り返るなどの復習をし、学んだ内容を身につけること。

回	授　業　概　要
1	【到達目標】 前期の授業の進め方について理解する。 生活の構成要素と現代社会の課題を理解できる。 【授業内容】 オリエンテーション 家庭生活の基本機能
2	【到達目標】 家族、地域社会の集団や組織について学び、利用者とのかかわりについて理解できる。 【授業内容】 家族の概念、構造、役割 地域の概念、集団・組織の種類や役割、地域の課題
3	【到達目標】 現代におけるライフスタイルの変化と影響について理解できる。 少子高齢化の現状や課題などを理解する。 【授業内容】 現代社会の現状と課題 社会構造の変容とその影響
4	【到達目標】 日本の社会保障制度の基本的構造、機能等について理解する。 社会保障全体の給付と負担について構造を理解できる。 【授業内容】 日本の社会保障制度の概念、体系、役割、財源などの基本的な　考え方
5	【到達目標】 日本の社会福祉の理念について学び、社会福祉の基本的な法制度や実施体制について理解する。 【授業内容】 社会福祉の法制度と実施体制
6	【到達目標】 戦後から現代に至るまでの社会保障制度の歴史を整理する。 社会保障制度の変化について理解できる。 【授業内容】 日本の社会保障制度の発達と歴史
7	【到達目標】 介護保険制度創設までの過程や背景について学び、介護保険制度の目的、理念等について理解する。 【授業内容】 介護保険制度①　介護保険制度の基本的概念
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り学習を深め、問題に答える。 介護サービス利用までの過程について理解できる。 【授業内容】 中間試験、解答解説 介護保険制度②　介護保険制度の利用までの過程
9	【到達目標】 介護保険給付の種類について理解できる。 各介護サービスの内容について理解し、述べることができる。 【授業内容】 介護保険制度③　介護保険制度の保険給付、介護予防の概念
10	【到達目標】 介護保険制度における利用者負担のしくみや軽減措置について理解できる。 【授業内容】 介護保険制度④　介護保険制度の利用者負担
11	【到達目標】 地域支援事業について種類、内容を理解できる。 地域包括ケアシステムの現状と方向性について理解する。 【授業内容】 介護保険制度⑤　介護保険制度における地域支援事業、地域包括ケアシステム
12	【到達目標】 介護保険制度にかかわる公的、民間の各組織の種類とそれぞれの役割について整理し、理解できる。 【授業内容】 介護保険制度⑥　介護保険制度における組織、団体の機能と役割
13	【到達目標】 介護保険制度にかかわる専門職の役割について理解する。 介護保険制度改正の流れと動向について整理することができる 【授業内容】 介護保険制度⑦　介護保険制度における専門職の役割
14	【到達目標】 これまでの介護保険制度に関する授業のまとめを行い、知識の確認をする。 【授業内容】 介護保険制度⑧　介護保険制度のまとめ
15	【到達目標】 前期の授業を振り返り、疑問などを解消し、学習内容をより深めることができる。 【授業内容】 授業の振り返り、前期試験、解答解説

【特記事項】

毎授業において、板書したことやパワーポイント等を必ず記録すること。
疑問等ある場合は必ず質問し、解消すること。

【評価について】

筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	人間関係とコミュニケーション	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	保住　恵理
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総時間（単位）	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日　2限

【実務経験】**（担当する授業科目に関連した実務経験）**

【授業の学習内容】**（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか）**

【授業の学習内容】

介護の質を向上させるために必要なチームマネジメントの基礎知識を応用し、チームで働くために必要な能力を習得する。
現在リーダーシップを発揮し活躍している専門職からの講義や事例検討を通し、リーダーの果たす役割や組織運営について学習する。

【到達目標】

介護実践をマネジメントするため、組織の運営管理や人材の育成や管理、リーダーシップやフォロワーシップ等、チーム運営の基本について講義と演習を通して学ぶ。
介護福祉士のリーダー的役割を果たすために必要な、様々なキャリアデザインの方法をイメージ出来るよう、現場での実践者から講義や演習を通し学ぶ。現在リー

【使用教科書・教材・参考書】

【授業外における学習】

教科書やワークブックの次回の範囲を読み、予習をしてくること。また授業後もノートやプリントを振り返り見返す等の復習をし、学んだことを身につけること。

1 4/11	【到達目標】 就職後の自己研鑽の方法について理解することができる。 【授業内容】 介護福祉士のキャリアデザイン 介護福祉士の経験から得られたもの	9 6/13	新人介護福祉士が発揮する介護実践における自己研鑽と人間関係の構築について知る。 【授業内容】 卒後1年目の仕事について
2 4/18	【到達目標】 協働・連携する社会福祉士および介護支援専門員の役割と職務を理解する。 【授業内容】 社会福祉士の仕事 介護支援専門の仕事	10 8/29	【到達目標】 通所サービスのリーダーの役割 【授業内容】 リーダーとは リーダー業務の実際
3 4/25	【到達目標】 協働・連携する看護師（医療職）の役割と職務を理解する。 【授業内容】 医療連携 看護師の仕事	11 9/5	【到達目標】 入所サービスのリーダーの役割 【授業内容】 リーダーとは リーダー業務の実際
4 5/9	【到達目標】 卒後2年目介護福祉士が発揮する介護実践における自己研鑽とチームマネジメントを知る。 【授業内容】 卒後2年目の仕事について 学生のころと現在の仕事の変化	12 9/12	【到達目標】 介護福祉士の人材育成とケアの質管理 【授業内容】 介護現場での人材育成の実際 介護現場でのケアの質検討
5 5/16	【到達目標】 卒後3年目介護福祉士が発揮する介護実践における自己研鑽とチームマネジメントを知る。 【授業内容】 卒後3年目で任せられている仕事 委員会活動について	13 9/19	【到達目標】 介護系事業の立ち上げと展開方法を知る。 【授業内容】 介護福祉法人または株式等の福祉施設の概要 立ち上げに関する実際
6 5/23	【到達目標】 卒後5年目介護福祉士が発揮する介護実践における自己研鑽とチームマネジメント 【授業内容】 卒後5年目で任せられている仕事 ケアのマネジメント	14 9/26	【到達目標】 施設長の役割 【授業内容】 施設長になるためには 施設長の仕事
7 5/30	【到達目標】 介護福祉職としてのキャリアデザインについて理解する。 【授業内容】 キャリアパスとキャリアデザイン OJT・OFFJT（実際の現場で行われる研修など	15 10/3	【到達目標】 これまで学習したことを元に、自分の意見を述べることができる。 【授業内容】 定期試験
8 6/6	【到達目標】 前半での学びを振り返りることができる。 【授業内容】 中間試験		

【特記事項】

【評価について】

筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）

科目名（英）	介護の基本 Basic nursing care	必修選択	必修	年次	2年生	担当教員	坪田　大仁
学科・コース	介護福祉科	授業形態	講義	総単位時間	15時間	開講区分 曜日・時間	前期 木曜　　3 限

【実務経験】
通所や居宅介護支援事業所の管理者として8年間従事する。また、世代間交流の場や自費サービスの事業展開を行うなど、介護が果たす地域貢献についても取り

【授業の学習内容】
通所介護事業所の管理者や介護支援専門員として、様々なケースのご利用者様を支援してきました。これらの経験から、「正しい情報理解（アセスメント力）」の重要性や「状況に応じた対応力（応用力）」の必要性」を強く感じました。授業にあたっては、一方的な情報伝達に留まらず、情報をどのように活用するのか？といった視点も大切に「考える機会」を多用し、現場実践において必要な力が身につけられるよう学習を進めていきます。

【到達目標】
①介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識や介護福祉士の役割や機能について理解しよう。
②介護を実践するための健康管理や労働環境の管理について理解しよう。
③介護実践における安全管理をするための基礎的な知識や技術を習得しよう。

【使用教科書・教材・参考書】
「2022介護福祉士国家試験　受験ワークブック　上・下」
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022」中央法規（参考）

【授業外における学習】
介護に関する専門的な用語についてはあらかじめ予習してくること。授業後にも、使用したプリントなどを復習し、授業内容を身につけること。

回	授　業　概　要
1	【到達目標】 授業の進め方と評価の方法について理解することができる。 1年次に学んだ内容を整理することで学びを深める。 【授業内容】 オリエンテーション 介護福祉士の専門性について
2	【到達目標】 介護の領域におけるリスクを理解し、安全確保のための環境づくりができるような知識や視点が持てる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント① （危険察知、環境整備、事故時の対応、ヒヤリハット）
3	【到達目標】 施設や在宅介護で生じやすい事故とその原因について理解し安全確保に対する正しい知識と対応について理解できる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント② （事故種別、BCPの視点からも対策を考える）※グループワーク
4	【到達目標】 感染に対する基礎的な知識を習得し、具体的な感染症対策について理解できる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント③ （感染症とは？/感染予防対策/感染時の対応）
5	【到達目標】 介護者が抱えるストレス、健康問題について考え、介護者自身のこころと身体の健康管理について理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全① （ストレスや健康問題を抱える原因/予防について）※グループワーク
6	【到達目標】 安心安全に働ける労働（職場）環境について考え、その必要性について理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全② （労働安全対策/従事者としての権利）※グループワーク
7	【到達目標】 介護従事者に多い健康被害についての具体的な対応策を理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全③ （福祉用具の活用/腰痛体操等）
8	【到達目標】 授業の振返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説
9	【到達目標】 介護従事者の労働災害について理解することができる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全④ （事例を用いた事故（怪我）と環境整備の関係について）
10	【到達目標】 働きやすい職場とは？を考え、事業所や個々人が取り組むことができる取組みを理解できる。 【授業内容】 労働環境についてグループワークに用い、働きやすい職場環境についてまとめる。※グループワーク
11	【到達目標】 チームアプローチの意義と課題解決に向けたプロセスを理解できる。 【授業内容】 保健・医療・福祉職の役割や機能について
12	【到達目標】 介護サービスの概要についての学びを深めることができる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて① （サービス導入の過程について）
13	【到達目標】 ケアマネジメントとは何かの理解を深め、サービス提供の在り方についての理解できる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて② （ケアマネジメントの過程について）
14	【到達目標】 事例から適切なサービスや支援方法について理解できる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて③ （様々な事例からサービスの必要性を掘り下げる）
15	【到達目標】 授業の振返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 期末試験、解答解説

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	生活支援技術Ⅲ Life Support Technolody	必修選択	必須	年次	2年	担当教員	田母神 由美
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前 期 火 曜 3限 ・ 4限

【実務経験】**(担当する授業科目に関連した実務経験)**
高齢者施設(入所、通所、在宅)や障害者施設(共同生活支援、就労支援、相談業務)など30年以上の実務経験もち現在も現場で支援を行っている。

【授業の学習内容】**(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)**
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるように、根拠に基づいた介護実践を行うための知識、技術を学ぶ科目である。基本の支援方法を確認しながら、実習時の事例や担当教員が実際に現場で行っている事例について、相手の思いに寄り添い状態に合わせた方法などを理解、習得してほしい。

【到達目標】
・さまざまな障害に応じた支援方法を習得することができる。
・対象者の能力を活用し生活課題に応じた支援を行うことができる。
・実践時の根拠について理解し説明することができる。

【使用教科書・教材・参考書】
・介護福祉士養成講座9「介護過程」 中央法規
・介護福祉士 受験ワークブック 2022下 中央法規

【授業外における学習】
専門的用語や小テストの内容など習得できているかを確認し授業に備える。

回	授 業 概 要
1	【到達目標】 ボディメカニクスを活用する意味を理解し、体に負担がない動きを確認することができる 【授業内容】 ボディメカニクス 基本動作の確認及び応用 すべての支援方法について根拠を確認する
2	【到達目標】 ベッドメイキングの意義を確認し、褥瘡予防の留意点を確認することができる 【授業内容】 環境整備 基本動作の確認及び応用
3	【到達目標】 ボディメカニクスの活用と、残存機能を利用し身体に負担がかからない方法を確認することができる 【授業内容】 ベッド上の移動① 基本動作の確認及び応用
4	【到達目標】 ボディメカニクスの活用と、残存機能を利用し身体に負担がかからない方法を確認することができる 【授業内容】 ベッド上の移動② 基本動作の確認及び応用
5	【到達目標】 ボディメカニクスの活用と、残存機能を利用し身体に負担がかからない方法を確認することができる 【授業内容】 移乗・歩行介助 基本動作の確認及び応用
6	【到達目標】 プライバシーや保温に留意し、身体機能に合わせた着脱方法を確認することができる 【授業内容】 衣類の着脱(座位) 基本動作の確認及び応用
7	【到達目標】 プライバシーや保温に留意し、身体機能に合わせた着脱方法を確認することができる 【授業内容】 衣類の着脱(ベッド上) 基本動作の確認及び応用
8	【到達目標】 羞恥心や保温に配慮し状態に合わせた支援方法を確認することができる 【授業内容】 排泄 基本動作の確認及び応用 ・ 中間テスト
9	【到達目標】 安全で安楽な支援方法を再確認し安心して3次実習に向かうことができる 【授業内容】 入浴、食事介助 基本動作の確認及び応用
10	【到達目標】 支援方法に関する疑問を解決することができる 【授業内容】 根拠に基づいた支援方法についての再確認
11	【到達目標】 生活上での不便さを理解し、必要な場面での支援方法を理解することができる 【授業内容】 視覚、聴覚に障害がある人への支援
12	【到達目標】 体験することにより状態に合わせた支援方法を理解することができる 【授業内容】 アイマスクの体験 白杖
13	【到達目標】 終末期の心身状態について理解することができる 【授業内容】 介護福祉士として思いや願いに寄り添う支援
14	【到達目標】 終末期の家族との関わりについて理解することができる 【授業内容】 「最後まで自分らしく」を考える
15	【到達目標】 前期の授業で学んだ理解度を確認し、不明な点は再度確認する 【授業内容】 定期試験・前期授業の振り返り

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数 89～80点＝B評価
点数 79～70点＝C評価
点数 69～60点＝D評価
点数 59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	介護過程 Care Work Process	必修選択	必須	年次	2年	担当教員	田母神　由美
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前　期 火 曜　　1 限

【実務経験】**(担当する授業科目に関連した実務経験)**
高齢者施設(入所、通所、在宅)や障害者施設(共同生活支援、就労支援、相談業務)など30年以上の実務経験もち現在も現場で支援を行っている。

【授業の学習内容】**(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)**
介護が必要とされる対象者自身が【望む生活】、【よりよい人生】を実現するため、専門的知識を活用し生活上の課題解決に向けて取り組むプロセスを学ぶ科目である。担当教員が実際に日常で起きている様々な事例や知識を生かし伝えることで、何を考えどのような生活を送りたいのかなど、相手の想いに寄り添い状態に合わせた自立支援の方法を理解してほしい。

【到達目標】
・介護過程の目的、意義を理解し、介護過程を展開する一連のプロセスを理解することができる。
・生活課題を抽出し実施、評価方法を理解することができる。
・介護過程を展開するための情報共有の方法や各職種の役割を理解することができる。

【使用教科書・教材・参考書】
・介護福祉士養成講座9「介護過程」 中央法規
・介護福祉士　受験ワークブック　2022下　中央法規

【授業外における学習】
専門的用語や小テストの内容など習得できているかを確認し授業に備える。

回	授　業　概　要
1	【到達目標】 情報を整理し生活課題について理解することができる 【授業内容】 2次実習時に作成した個別援助計画を使用し生活課題の抽出
2	【到達目標】 目標の設定方法について理解することができる 【授業内容】 生活課題を抽出し長期目標、短期目標を設定
3	【到達目標】 自立支援に基づき実際に行う際の展開方法を考えることができる 【授業内容】 目標を設定し実施方法の検討①
4	【到達目標】 安全に留意した展開方法を考えることができる 【授業内容】 実施方法の検討②
5	【到達目標】 検討した展開方法を様式に記載することができる 【授業内容】 実施方法の検討③
6	【到達目標】 評価方法について理解することができる 【授業内容】 評価方法の考え方
7	【到達目標】 よりよい生活につながる評価方法を考えることができる 【授業内容】 実施した内容に対しての評価方法の記載
8	【到達目標】 介護過程一連のプロセスについて再確認する 【授業内容】 介護過程のまとめ・中間テスト
9	【到達目標】 各書式の記載方法を理解し作成することができる。 【授業内容】 3次実習時の作成課題について確認
10	【到達目標】 実際に行った展開方法を振り返り理解することができる 【授業内容】 3次実習時に作成した記録の振り返り及び確認
11	【到達目標】 介護過程の意義と目的について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ①
12	【到達目標】 介護過程の全体像について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ②
13	【到達目標】 ICF の活用方法について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ③
14	【到達目標】 チームアプローチについて再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ④
15	【到達目標】 前期の授業で学んだ理解度を確認し、不明な点は再度確認する 【授業内容】 定期試験・前期授業の振り返り

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	介護総合演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	奥畑・保住・田村
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前 期 木 曜 1，2限

【授業の学習内容】

介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。

【到達目標】

・介護実習の効果を上げるため、事前に実習する施設や事業所について理解が深まるようにするとともに、各領域で学んだ知識と技術を統合し介護実践につなぐことができる。
・質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解することができる。

【使用教科書・教材・参考書】

実習と記録－介護福祉士編－慈慶教育科学研究所
新・介護福祉士養成講座10　介護総合演習・介護実習　第3版　中央法規

【授業外における学習】

回	授業概要
1 4/13	【到達目標】 ①オリエンテーション ②記録を書くことの意味を考える 【授業内容】 ①オリエンテーション・2次実習の振り返り ②日誌・課題を整える
2	【到達目標】 ①オリエンテーション ②記録を書くことの意味を考える 【授業内容】 ①オリエンテーション・2次実習の振り返り ②日誌・課題を整える
3 4/20	【到達目標】 ①1，2次実習の記録を再度見直し、修正する ②3次実習に向けて記録・文章の書き方を修正する 【授業内容】 ①1，2次実習の記録をグループで見直し、訂正する
4	【到達目標】 ①1，3次実習の記録を再度見直し、修正する ②4次実習に向けて記録・文章の書き方を修正する 【授業内容】 ①1，3次実習の記録をグループで見直し、訂正する
5 4/27	【到達目標】 ①3次実習に向けて心構えすることができる ②実習書類を準備し、目的・目標を整えることができる 【授業内容】 ①実習先を調べる、実習先発表 ②実習生紹介表/バス定期券の作成
6	【到達目標】 ①3次実習に向けて心構えすることができる ②実習書類を準備し、目的・目標を整えることができる 【授業内容】 ①実習先を調べる、実習先発表 ②実習生紹介表/バス定期券の作成
7 5/11	【到達目標】 ①実習生紹介表を完成させる ②なぜ実習に行くのか、社会人と学生の違いを自ら考える 【授業内容】 ①実習生紹介表の完成 ②グループで考える
8	【到達目標】 ①実習生紹介表を完成させる ②なぜ実習に行くのか、社会人と学生の違いを自ら考える 【授業内容】 ①実習生紹介表の完成 ②グループで考える
9 5/18	【到達目標】 ①記録を書く際の視点を見直す ②記録はなぜ必要なのかを考える 【授業内容】 ①グループで討論しながら各分野の記録を書く視点を整理する
10	【到達目標】 ①記録を書く際の視点を見直す ②記録はなぜ必要なのかを考える 【授業内容】 ①グループで討論しながら各分野の記録を書く視点を整理する
11 5/25	【到達目標】 ①介護記録、実習日誌を書くとき何を書けばよいかグループとクラスでまとめる 【授業内容】 グループ発表 PCを使いパワーポイントを作成する
12	【到達目標】 ①介護記録、実習日誌を書くとき何を書けばよいかグループとクラスでまとめる 【授業内容】 グループ発表 PCを使いパワーポイントを作成する
13 6/1	【到達目標】 ①オリエンテーションのアポイントメントをする ②電話のマナーについて再度確認する 【授業内容】 ①実習先へ架電 ②電話のマナーについて考える
14	【到達目標】 ①プロとアマチュアの違いについて考える 【授業内容】 ①DVD「プロフェッショナル」の鑑賞
15 6/8	【到達目標】 3次実習の心構えを整える 【授業内容】 半期のまとめ 1，2次実習のまとめ(試験)

【特記事項】

【評価について】

筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）

科目名（英）	介護過程 Care Work Process	必修選択	必須	年次	2年	担当教員	田母神　由美
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前　期 火 曜　　1 限

【実務経験】**(担当する授業科目に関連した実務経験)**
高齢者施設(入所、通所、在宅)や障害者施設(共同生活支援、就労支援、相談業務)など30年以上の実務経験もち現在も現場で支援を行っている。

【授業の学習内容】**(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)**
介護が必要とされる対象者自身が【望む生活】、【よりよい人生】を実現するため、専門的知識を活用し生活上の課題解決に向けて取り組むプロセスを学ぶ科目である。担当教員が実際に日常で起きている様々な事例や知識を生かし伝えることで、何を考えどのような生活を送りたいのかなど、相手の想いに寄り添い状態に合わせた自立支援の方法を理解してほしい。

【到達目標】
・介護過程の目的、意義を理解し、介護過程を展開する一連のプロセスを理解することができる。
・生活課題を抽出し実施、評価方法を理解することができる。
・介護過程を展開するための情報共有の方法や各職種の役割を理解することができる。

【使用教科書・教材・参考書】
・介護福祉士養成講座9「介護過程」 中央法規
・介護福祉士　受験ワークブック　2022下　中央法規

【授業外における学習】
専門的用語や小テストの内容など習得できているかを確認し授業に備える。

回	授　業　概　要
1	【到達目標】 情報を整理し生活課題について理解することができる 【授業内容】 2次実習時に作成した個別援助計画を使用し生活課題の抽出
2	【到達目標】 目標の設定方法について理解することができる 【授業内容】 生活課題を抽出し長期目標、短期目標を設定
3	【到達目標】 自立支援に基づき実際に行う際の展開方法を考えることができる 【授業内容】 目標を設定し実施方法の検討①
4	【到達目標】 安全に留意した展開方法を考えることができる 【授業内容】 実施方法の検討②
5	【到達目標】 検討した展開方法を様式に記載することができる 【授業内容】 実施方法の検討③
6	【到達目標】 評価方法について理解することができる 【授業内容】 評価方法の考え方
7	【到達目標】 よりよい生活につながる評価方法を考えることができる 【授業内容】 実施した内容に対しての評価方法の記載
8	【到達目標】 介護過程一連のプロセスについて再確認する 【授業内容】 介護過程のまとめ・中間テスト
9	【到達目標】 各書式の記載方法を理解し作成することができる。 【授業内容】 3次実習時の作成課題について確認
10	【到達目標】 実際に行った展開方法を振り返り理解することができる 【授業内容】 3次実習時に作成した記録の振り返り及び確認
11	【到達目標】 介護過程の意義と目的について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ①
12	【到達目標】 介護過程の全体像について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ②
13	【到達目標】 ICF の活用方法について再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ③
14	【到達目標】 チームアプローチについて再確認することができる 【授業内容】 介護過程の展開　まとめ④
15	【到達目標】 前期の授業で学んだ理解度を確認し、不明な点は再度確認する 【授業内容】 定期試験・前期授業の振り返り

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	障害の理解 Comprehension of handicap	必修選択	必修	年次	2	担当教員	大川　空湖
学科・コース	介護福祉科	授業形態	講義	総単位時間	30H	開講区分 曜日・時間	前　期 水　曜　4　限

【実務経験】**（担当する授業科目に関連した実務経験）**
障害者支援施設・グループホーム・相談支援センターにおいて、20年間身体障害者・知的障害者・精神障害者の生活支援・相談支援等の実務に携わる。

【授業の学習内容】**（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか）**
本科目は、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境への支援を理解するための基本的な知識を習得する。障害のある人に対する介護や支援を、担当教員の現場経験に基づく実例を通しイメージできるよう配布資料や映像をとおして学習する。

【到達目標】
・障害の基礎的理解として、障害の概念、障害者福祉の基本理念を理解することができる。
・障害種別ごとの医学的、心理的側面も踏まえた生活を理解し、障害のある人の生活と、障害特性に応じた支援について理解することができる。
・障害のある人を取り巻く家族に対する支援のあり方の理解、介護福祉士がチームアプローチを行う上での連携と協働についての理解ができる。

【使用教科書・教材・参考書】
介護福祉士国家試験受験ワークブック2022　上下（中央法規）
見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022（中央法規）

【授業外における学習】
介護に関する専門用語が出てくるので、予めワークブック等を読み予習をしておくこと。また、重要項目については復習をおこなうこと。

回	授　業　概　要
1	【到達目標】 障害の概念について理解できる。 【授業内容】 障害とは何か、障害の種類には何があるのか、障害者の法的定義
2	【到達目標】 障害者福祉の基本理念について理解できる。 【授業内容】 ICIDH・ICF、ノーマライゼーション・リハビリテーション・インクルージョン
3	【到達目標】 視覚障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 視覚障害の医学的理解（視覚機能・視覚障害の種類・原因疾患）心理的理解、生活の理解、介護上の留意点。
4	【到達目標】 聴覚障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 聴覚障害の医学的理解（聴覚障害、耳の構造、難聴の種類）、心理的理解、生活の理解、介護上の留意点
5	【到達目標】 言語障害・重複障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 言語障害とは何か、言語障害の種類、生活上の困難について。 重複障害の医学的理解、心理面の理解、コミュニケーション方法。
6	【到達目標】 肢体不自由（脳血管障害）のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 肢体不自由とは何か、脳血管障害とは、またその後遺症
7	【到達目標】 肢体不自由（脳性麻痺）のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 脳性麻痺の医学的理解（原因、症状）、ケアのポイント
8	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 中間テスト・解説
9	【到達目標】 障害のある人への生活支援について理解ができる。 【授業内容】 障害のある人への支援をおこなう実務者の体験談から学ぶ。学生との質疑。
10	【到達目標】 肢体不自由（脊髄損傷）のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 脊髄損傷とは何か、原因、症状、中途障害者の典型的な障害受容過程
11	【到達目標】 精神障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 精神障害とは何か、精神障害の分類と主な疾患、介護上の留意点
12	【到達目標】 高次脳機能障害のある人の生活について理解できる 【授業内容】 高次脳機能障害とは何か、高次脳機能障害の原因、主要症状、ケアのポイント
13	【到達目標】 知的障害・発達障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 知的障害とは何か、原因、特徴、介護上の留意点 発達障害とは何か、発達障害の種類、介護上の留意点
14	【到達目標】 重症心身障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 重症心身障害とは何か、原因及びさまざまな状態像、生活支援と医療的ケア
15	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期テスト・解説

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	こころとからだのしくみ Organization of mind body's	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	奥畑　幸一郎
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総時間（単位）	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日　1限

【実務経験】**（担当する授業科目に関連した実務経験）**
看護師として、病院で手術室・呼吸器、泌尿器、脳神経の内科病棟での経験を持つ。

【授業の学習内容】**（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか）**

【授業の学習内容】
本科目は、介護の根拠となる人体の構造や機能を学ぶ。介護を行う上で、対象の安全への留意点や心理的側面への配慮について理解を目指していく。手術室勤務において、からだの構造を直に見た教員自身の経験を活かし、からだの中のことをイメージ出来るようにする。また、病棟で経験した医療支援や命を守る支援の事例から具体的に分かりやすく、からだとこころのしくみを介護の現場や学習者自身こととしても使える知識にしていく。

【到達目標】
介護サービスを提供する際の根拠を、こころとからだのしくみから述べることができる。
こころとからだのしくみが、生活行動に結びつき、その基盤となっていることが理解できる。
異常の早期発見や危険予測の上で、対応や医療職との連携について理解できる。

【使用教科書・教材・参考書】
・「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」（中央法規）
・「介護福祉士国家試験受験ワークブック（中央法規）

【授業外における学習】
介護・医療における専門的用語は予め教科書を読み予習をすること。また授業後もノートやプリントを振り返り見返す等の復習し、学んだことを身につけること。

1	【到達目標】 睡眠の効果を理解し、こころとからだに与える影響を知る。レム睡眠とノンレム睡眠の役割を理解することができる。 【授業内容】 睡眠の意味と加齢による睡眠構造の変化 睡眠のしくみ	9	【到達目標】 生活習慣病とは何かを説明することができる。 生活という観点から、生活習慣病の予防の必要性を記述することができる。 【授業内容】 生活習慣病の定義と予防
2	【到達目標】 心身の機能低下・障害が及ぼす睡眠の影響を理解することができる。睡眠における医療との連携について理解する。 【授業内容】 睡眠障害 睡眠に関する変化と気づきと医療との連携	10	【到達目標】 災害時に起こりうるこころとからだの変化を説明することができる。いつ起こるかわからない「災害」に向けて、介護福祉士としての心構えをつくることができる。 【授業内容】 災害時における体の変化 トリアージの実際と心のケア
3	【到達目標】 終末期とは何か、どのような支援が必要になるかを考えることができる。人の死をどのように捉えるの理解できる。 【授業内容】 死の理解ととらえ方 終末期のアセスメント	11	【到達目標】 1年次に学んだこころのしくみを復習し、知識を確立していくことができる。 【授業内容】 欲求階層説 記憶など
4	【到達目標】 死にゆく人のこころについて理解を深める、キューブラー･ロスの死の受容過程を説明できる。終末期における、医療職との連携を理解する。 【授業内容】 終末期唐木徳治・死亡時のからだの変化 死の受容段階と家族支援・医療との連携	12	【到達目標】 生命活動のコントロールする脳・神経系のしくみについて復習し、知識を確立していくことができる。 【授業内容】 細胞・組織・器官の成り立ち 脳神経系について
5	【到達目標】 薬の基本的な取り扱い（薬の吸収と排泄・薬の種類と効果・服薬時間）について理解することができる。 【授業内容】 医療行為と医療外行為と薬の基本的取り扱い 薬の吸収と排泄・薬の種類と効果・服薬時間	13	【到達目標】 運動を司る骨・筋系のしくみについて復習し、知識を確立していくことができる。 【授業内容】 骨と筋肉の役割 関節と靭帯の役割など
6	【到達目標】 一包化された内服の支援を習得することができる。 高齢者に多い疾患（高血圧・糖尿病・パーキンソン病）の服薬について理解する。 【授業内容】 薬の副作用 高齢者に多い疾患に関する服薬管理	14	【到達目標】 血液に酸素を供給する呼吸器系のしくみについて復習し、知識を確立していくことができる。 【授業内容】 呼吸器官の構造としくみ 外呼吸と内呼吸
7	【到達目標】 感染とは何かを理解し、感染予防（感染経路・スタンダードプリコーション）の基礎知識を習得する。バイタルサインの意味を理解する。 【授業内容】 感染の定義と感染予防 バイタルサインの意味と測定方法	15	【到達目標】 これまでの授業で学習したことをもとに、問題に答えることができる。 分からない問題の洗い出しを行い、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験
8	【到達目標】 前半で学んだ知識を確認することができ、不得意なところを見つけ自己学習につなげることができる。 【授業内容】 中間試験		

【特記事項】

【評価について】

筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）

科目名（英）	医療的ケア	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	白井良江
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義演習	総単位時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前 期 金 曜日　1・2 限　講義・演習

【実務経験】
大学病院内分泌代謝科・訪問看護・有料老人ホームに勤務し、看護師として25年以上の経験を持つ。

【授業の学習内容】
本科目は、平成23年から、医師の指示の下、喀痰吸引や経管栄養が介護福祉士の業務として位置づけられた医療的ケアの意義を学び、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう必要な知識・技術を習得する。看護師として、日々行っている喀痰吸引・経管栄養の実務経験をいかして、解剖生理学的な基礎知識・実施手順・留意点・緊急時の対応について伝える。

【到達目標】
医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識を修得することができる。

【使用教科書・教材・参考書】
最新介護福祉士養成講座　医療的ケア中央法規・見て覚える介護福祉士国試ナ2022中央法規・介護福祉士国家試験受験ワークブック2022上下中央法規

【授業外における学習】

回	授 業 概 要
1	【到達目標】 介護福祉士が医療的ケアを実施できるようになった背景が理解できる。 【授業内容】P2～P27 オリエンテーション・医療的ケアとは・医行為について 喀痰吸引等制度　医療的ケアと喀痰吸引等実施の背景
2	【到達目標】 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論が理解できる。 【授業内容】P96～P106 呼吸のしくみとはたらき・いつもと違う呼吸状態・喀痰吸引とは
3	【到達目標】 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】P142～P158　P232～P242 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持　吸引の技術と留意点　吸引チューブの取り扱い練習
4	【到達目標】 気管カニューレ内部の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】P142～P158　P243～P254 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持　吸引の技術と留意点　滅菌手袋の装着練習
5	【到達目標】 消化器系の構造・機能・症状と経管栄養のしくみと種類・内容・実施上の留意点が理解できる 【授業内容】P168～P185 消化器系のしくみとはたらき　消化・吸収とよくある消化器の症状　経管栄養とは　注入する内容に関する知識　経管栄養実施上の
6	【到達目標】 経管栄養に使用する物品や経管栄誉の種類、安全に実施するための手順、物品の取り扱いや消毒について理解できる 【授業内容】P255～P267　P279～P291 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持　経管栄養の技術と留意点　経管栄養に必要なケア
7	【到達目標】 経管栄養に使用する物品や経管栄誉の種類、安全に実施するための手順、物品の取り扱いや消毒について理解できる 【授業内容】P255～P267　P279～P291 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持　経管栄養の技術と留意点　経管栄養に必要なケア
8	【到達目標】 喀痰吸引の実施手順と留意点の知識の確認。経管栄養の実施手順と留意点の知識の確認。　救急蘇生について理解できる。 【授業内容】P42～P61　P292～P311 ・中間試験 ・救急蘇生の目的、方法を学ぶ
9	【到達目標】演習：救急蘇生 救急蘇生の目的、方法を理解できる。 【授業内容】演習 シュミレーターを使って心肺蘇生を体験する。
10	【到達目標】 喀痰吸引の実施手順と留意点、経管栄養の実施上の留意点を理解することができる。 演習のオリエンテーション 【授業内容】 喀痰吸引のケア実施の手引き 経管栄養のケアの実施の手引き
11	【到達目標】 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引　気管カニューレ内部の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】演習 喀痰吸引のケア実施の手引き
12	【到達目標】 口腔内・鼻腔内の喀痰吸引　気管カニューレ内部の喀痰吸引の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】演習 喀痰吸引のケア実施の手引き
13	【到達目標】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】演習 経管栄養のケアの実施の手引き
14	【到達目標】 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養の実施手順と留意点を理解することができる。 【授業内容】演習 経管栄養のケアの実施の手引き
15	【到達目標】 これまでの学習、演習をもとに、問題に答えることができる。 【授業内容】 定期試験

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数 89～80点＝B評価
点数 79～70点＝C評価
点数 69～60点＝D評価
点数 59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	Growing up academy (前期)グローイングアップアカデミー	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	奥畑
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総単位時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日・1，2限

【授業の学習内容】
国家試験に向けて100%の合格を目指して学習する習慣を身に着ける。
過去問題や、模擬問題、通常授業の学習を繰り返し行うことで、効率よく自分にあった学習方法を見つけることができる。
卒業して、職業人になった後も学びは続くので、そのときの力にすることができる

【到達目標】
1年生の振り返りをしながら、記憶の定着をすることができる
自分らしい勉強方法をみつけることができる
学生同士協力しながら、目的・目標を達成することができる

【使用教科書・教材・参考書】
各教員担当から指示がある

【授業外における学習】
各担当教員から指示がある

回	授業概要
1 4/12	【到達目標】 ①グローイングアップアカデミー授業の意味を理解する ②国家試験に向けてのスケジューリング 【授業内容】 年間スケジュールの確認 認知症の理解
2 4/19	【到達目標】 ①認知症の種類と代表的な特徴 ②国家試験の過去問　3年分 【授業内容】 認知症の理解
3 4/26	【到達目標】 ①認知症による周辺症状/専門職チーム ②国家試験の過去問　3年分 【授業内容】 認知症の理解
4 5/10	【到達目標】 ①社会保障制度 ②国家試験の過去問　3年分 【授業内容】 介護の基本
5 5/17	【到達目標】 ①介護保険制度 ②国家試験の過去問　3年分 【授業内容】 介護の基本
6 5/24	【到達目標】 ①障害者自立支援制度 ②国家試験の過去問　3年分 【授業内容】 介護の基本
7 5/31	【到達目標】 ①総括 ②総括 【授業内容】 介護の基本
8 6/7	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験(筆記試験、実技試験)に望むことができる 【授業内容】 定期試験
9 6/14	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒沢先生　人間の尊厳と自立　社会の理解
10 8/30	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒沢先生　人間の尊厳と自立　社会の理解
11 9/6	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 黒沢先生　人間の尊厳と自立　社会の理解
12 9/13	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生　発達と老化の理解
13 9/20	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生　発達と老化の理解
14 9/27	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 白井先生　発達と老化の理解
15 10/4	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験(筆記試験、実技試験)に望むことができる 【授業内容】 定期試験

【特記事項】

【評価について】

筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）

科目名（英）	社会の理解 Comprehension of social system	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	黒澤　芳恵
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜　3限

【実務経験】**（担当する授業科目に関連した実務経験）**

【授業の学習内容】**（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか）**

本科目は高齢者や障害者の生活全般を支援する諸制度について学ぶ科目であり、利用者の生活を支えていくという観点から、必要な知識を身につけることを目的とした授業を行う。利用者を取り巻く環境や社会背景、日本の社会保障の基本的な考え方や具体的内容、サービス利用にかかわる制度・施策等について理解を深めてほしい。また、講義や演習を通して一人ひとりが考え、それぞれの法制度について実践の場で通用する知識として身につけてほしい。

【到達目標】

障害児・者に関する福祉制度の変遷や基本的な考え方としくみ、障害者総合支援法の内容を理解し、現状、課題等をとらえることができる。
人間の尊厳と自立にに関わる権利擁護や介護実践に関連する制度・施策の基本的な考え方と具体的内容について理解することができる。
地域共生社会や地域包括ケアシステムの基礎的な考え方としくみ、その実現のための制度・施策等を学ぶことができる。

【使用教科書・教材・参考書】

・「介護福祉士国家試験ワークブック2022上」中央法規
・「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022」中央法規

【授業外における学習】

ワークブックや国試ナビの次回の範囲を読み、予習をしてくること。また授業後もノートやプリントを振り返るなどの復習をし、学んだ内容を身につけること。

回	授　業　概　要
1	【到達目標】 後期の授業の進め方について理解する。 障害者支援の概念について具体的に理解できる。 【授業内容】 オリエンテーション 障害者への支援とは
2	【到達目標】 日本の障害福祉制度の歴史を、国際的な潮流と比較できる。 障害者と自立について関連づけて考察することができる。 【授業内容】 障害者福祉制度の変遷（戦後から現代まで）
3	【到達目標】 障害者総合支援法の理念、基本的枠組みについて理解できる。 障害者総合支援法における障害者の定義を理解する。 【授業内容】 障害者総合支援制度①　障害者総合支援制度の創設の背景や目的、理念・制度における障害者の定義
4	【到達目標】 障害福祉サービス利用までの過程について理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援制度②　障害福祉サービスの利用までの過程
5	【到達目標】 障害福祉サービスのそれぞれの内容について理解できる。 利用者負担のしくみと軽減措置について理解する。 【授業内容】 障害者総合支援制度③　障害福祉サービスの種類、内容 利用者負担のしくみ
6	【到達目標】 障害者総合支援制度にかかわる専門職の役割・機能について理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援制度④　障害者総合支援制度における専門職の役割
7	【到達目標】 障害者総合支援制度にかかわる公的、民間の各組織の種類とそれぞれの役割について整理し、理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援制度⑤　障害者総合支援制度における組織、団体の機能と役割
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り学習を深め、問題に答える。 障害児・者への法制度全般について理解できる。 【授業内容】 中間試験、解答解説
9	【到達目標】 公的年金保険の概要を学び、国民年金と厚生年金の給付と負担、財源等について理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度①　年金保険の基本的な概要
10	【到達目標】 公的医療保険の概要を学び、種類、給付と負担、財源等について理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度②　医療保険の基本的な概要
11	【到達目標】 労災保険、雇用保険について概要を理解できる。 生活保護制度の種類、内容、手続き、動向等について理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度③　労災保険、雇用保険の基本的な概要
12	【到達目標】 権利擁護に関するさまざまな法制度と実態について学び、利用者を守る視点を理解できる。 【授業内容】 介護実践に関連する諸制度④　権利擁護の諸制度（成年後見制度、虐待防止法、消費者保護など）
13	【到達目標】 地域福祉の理念や推進することの重要性を認識できる。 ソーシャル・インクルージョン等の理念について理解できる。 【授業内容】 地域共生社会の実現に向けた制度や施策①
14	【到達目標】 多文化社会の現状を把握するとともに、地域包括ケアの理念、地域包括ケアシステムの内容を理解できる。 【授業内容】 地域共生社会の実現に向けた制度や施策②
15	【到達目標】 後期の授業を振り返り、疑問などを解消し、学習内容をより深めることができる。 【授業内容】 授業の振り返り、後期試験、解答解説

【特記事項】

毎授業において、板書したことやパワーポイント等を必ず記録すること。
疑問等ある場合は必ず質問し、解消すること。

【評価について】

筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	介護の基本 Basic nursing care	必修選択	必修	年次	2年生	担当教員	坪田　大仁
学科・コース	介護福祉科	授業形態	講義	総単位時間	30時間	開講区分 曜日・時間	前期 木曜　　3 限

【実務経験】
通所や居宅介護支援事業所の管理者として8年間従事する。また、世代間交流の場や自費サービスの事業展開を行うなど、介護が果たす地域貢献についても取り

【授業の学習内容】
通所介護事業所の管理者や介護支援専門員として、様々なケースのご利用者様を支援してきました。これらの経験から、「正しい情報理解（アセスメント力）」の重要性や「状況に応じた対応力（応用力）」の必要性」を強く感じました。授業にあたっては、一方的な情報伝達に留まらず、情報をどのように活用するのか？といった視点も大切に「考える機会」を多用し、現場実践において必要な力が身につけられるよう学習を進めていきます。

【到達目標】
①介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識や介護福祉士の役割や機能について理解しよう。
②介護を実践するための健康管理や労働環境の管理について理解しよう。
③介護実践における安全管理をするための基礎的な知識や技術を習得しよう。

【使用教科書・教材・参考書】
「2022介護福祉士国家試験　受験ワークブック　上・下」
「見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022」中央法規（参考）

【授業外における学習】
介護に関する専門的な用語についてはあらかじめ予習してくること。授業後にも、使用したプリントなどを復習し、授業内容を身につけること。

回	授　業　概　要	回	授　業　概　要
1	【到達目標】 授業の進め方と評価の方法について理解することができる。 1年次に学んだ内容を整理することで学びを深める。 【授業内容】 オリエンテーション 介護福祉士の専門性について	9	【到達目標】 介護従事者の労働災害について理解することができる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全④ （事例を用いた事故（怪我）と環境整備の関係について）
2	【到達目標】 介護の領域におけるリスクを理解し、安全確保のための環境づくりができるような知識や視点が持てる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント① （危険察知、環境整備、事故時の対応、ヒヤリハット）	10	【到達目標】 働きやすい職場とは？を考え、事業所や個々人が取り組むことができる取組みを理解できる。 【授業内容】 労働環境についてグループワークに用い、働きやすい職場環境についてまとめる。※グループワーク
3	【到達目標】 施設や在宅介護で生じやすい事故とその原因について理解し安全確保に対する正しい知識と対応について理解できる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント② （事故種別、BCPの視点からも対策を考える）※グループワーク	11	【到達目標】 チームアプローチの意義と課題解決に向けたプロセスを理解できる。 【授業内容】 保健・医療・福祉職の役割や機能について
4	【到達目標】 感染に対する基礎的な知識を習得し、具体的な感染症対策について理解できる。 【授業内容】 介護における安全の確保とリスクマネジメント③ （感染症とは？/感染予防対策/感染時の対応）	12	【到達目標】 介護サービスの概要についての学びを深めることができる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて① （サービス導入の過程について）
5	【到達目標】 介護者が抱えるストレス、健康問題について考え、介護者自身のこころと身体の健康管理について理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全① （ストレスや健康問題を抱える原因/予防について）※グループワーク	13	【到達目標】 ケアマネジメントとは何かの理解を深め、サービス提供の在り方についての理解できる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて② （ケアマネジメントの過程について）
6	【到達目標】 安心安全に働ける労働（職場）環境について考え、その必要性について理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全② （労働安全対策/従事者としての権利）※グループワーク	14	【到達目標】 事例から適切なサービスや支援方法について理解できる。 【授業内容】 介護が必要とする人の生活を支えるしくみについて③ （様々な事例からサービスの必要性を掘り下げる）
7	【到達目標】 介護従事者に多い健康被害についての具体的な対応策を理解できる。 【授業内容】 介護者・介護従事者の安全③ （福祉用具の活用/腰痛体操等）	15	【到達目標】 授業の振返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 期末試験、解答解説
8	【到達目標】 授業の振返りを行い習熟度を確認する。不得意分野を明確にすることで適切なフォローアップができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説		

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	生活支援技術Ⅲ Life Support Technolody	必修選択	必須	年次	2年	担当教員	田母神 由美
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後 期 火 曜 3限 ・ 4限

【実務経験】**(担当する授業科目に関連した実務経験)**
高齢者施設(入所、通所、在宅)や障害者施設(共同生活支援、就労支援、相談業務)など30年以上の実務経験もち現在も現場で支援を行っている。

【授業の学習内容】**(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)**
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるように、根拠に基づいた介護実践を行うための知識、技術を学ぶ科目である。基本の支援方法を確認しながら、実習時の事例や担当教員が実際に現場で行っている事例について、相手の思いに寄り添い状態に合わせた方法などを理解、習得してほしい。

【到達目標】
・さまざまな障害に応じた支援方法を習得することができる。
・対象者の能力を活用し生活課題に応じた支援を行うことができる。
・実践時の根拠について理解し説明することができる。

【使用教科書・教材・参考書】
・介護福祉士養成講座9「介護過程」 中央法規
・介護福祉士 受験ワークブック 2022下 中央法規

【授業外における学習】
専門的用語や小テストの内容など習得できているかを確認し授業に備える。

回	授 業 概 要	回	授 業 概 要
1	【到達目標】 緊急時の対処方法を理解することができる 【授業内容】 生活場面での緊急時の対処方法	9	【到達目標】 生活支援技術に基づく知識の理解度を高めることができる 【授業内容】 一問一答形式
2	【到達目標】 緊急時に落ち着いて対応できる知識を習得することができる 【授業内容】 三角巾を活用した保護の方法	10	【到達目標】 生活支援技術に基づく知識の理解度を高めることができる 【授業内容】 一問一答形式
3	【到達目標】 酸素療法や人工呼吸療法が必要な方の生活環境の留意点を理解することができる 【授業内容】 呼吸機能障害がある人への介護	11	【到達目標】 過去問を行い不明な点を理解することができる 【授業内容】 国家試験対策
4	【到達目標】 食事、排泄、清潔場面においての対処方法を理解することができる 【授業内容】 肝臓機能障害がある人への介護 心 臓機能障害がある人への介護	12	【到達目標】 過去問を行い不明な点を理解することができる 【授業内容】 国家試験対策
5	【到達目標】 在宅療養の継続には自己管理や家族管理が必要なため観察のポイントなどを理解することができる 【授業内容】 ストーマ装具の理解	13	【到達目標】 練習問題を行い生活支援技術に基づく理解度を高めることができる 【授業内容】 国家試験対策
6	【到達目標】 症状についての理解を深め過ごしやすい環境を作ることができる 【授業内容】 リウマチのある人への介護 高 次脳機能障害のある人への介護	14	【到達目標】 練習問題を行い生活支援技術に基づく理解度を高めることができる 【授業内容】 国家試験対策
7	【到達目標】 障害についての理解を深め生活場面での支援方法を理解することができる 【授業内容】 統合失調症の人への生活支援 精 神障害の人への生活支援	15	【到達目標】 後期の授業で学んだ理解度を確認し、不明な点は再度確認する 【授業内容】 定期試験・後期授業の振り返り
8	【到達目標】 障害についての理解を深め生活場面での支援方法を理解することができる 【授業内容】 発達障害の人への生活支援 知 的障害の人への生活支援 中間テスト		

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数 89～80点＝B評価
点数 79～70点＝C評価
点数 69～60点＝D評価
点数 59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	障害の理解 Comprehension of handicap	必修選択	必修	年次	2	担当教員	大川　空湖
学科・コース	介護福祉科	授業形態	講義	総単位時間	30H	開講区分 曜日・時間	後　期 水　曜　4　限

【実務経験】**（担当する授業科目に関連した実務経験）**
障害者支援施設・グループホーム・相談支援センターにおいて、20年間身体障害者・知的障害者・精神障害者の生活支援・相談支援等の実務に携わる。

【授業の学習内容】**（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか）**
本科目は、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境への支援を理解するための基本的な知識を習得する。障害のある人に対する介護や支援を、担当教員の現場経験に基づく実例を通しイメージできるよう配布資料や映像をとおして学習する。

【到達目標】
・障害の基礎的理解として、障害の概念、障害者福祉の基本理念を理解することができる。
・障害種別ごとの医学的、心理的側面も踏まえた生活を理解し、障害のある人の生活と、障害特性に応じた支援について理解することができる。
・障害のある人を取り巻く家族に対する支援のあり方の理解、介護福祉士がチームアプローチを行う上での連携と協働についての理解ができる。

【使用教科書・教材・参考書】
介護福祉士国家試験受験ワークブック2022　上下（中央法規）
見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022（中央法規）

【授業外における学習】
介護に関する専門用語が出てくるので、予めワークブック等を読み予習をしておくこと。また、重要項目については復習をおこなうこと。

回	授　業　概　要
1	【到達目標】 身体障害がある人の地域生活について理解できる。 【授業内容】 ゲストスピーカー（当事者）による講義、学生との質疑。
2	【到達目標】 心臓機能障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 心臓機能障害をきたす原因疾患、ペースメーカー、介護上の留意点
3	【到達目標】 腎臓機能障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 腎臓の働き、腎臓機能障害とは何か、保存期の生活、末期腎不全の治療方法
4	【到達目標】 呼吸機能障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 呼吸機能障害とは何か、原因疾患、治療法、介護上の留意点
5	【到達目標】 膀胱・直腸機能障害のある人の生活について理解できる。 【授業内容】 膀胱・直腸機能障害の原因、治療法、管理方法、介護上の留意点
6	【到達目標】 肝臓機能障害・免疫機能障害のある人の生活について理解できる。 スタンダードプリコーションが実践できる。 【授業内容】 肝臓の機能、肝臓機能障害の原因、種類、介護上の留意点 HIV、AIDSについて、心理的負担の軽減、介護上の留意点
7	【到達目標】 難病とは何か、主要な運動神経系の難病について理解できる。 【授業内容】 進行段階期による支援の課題の整理ができる。心理的状況、介護上の留意点などを理解することができる。
8	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 中間テスト・解説
9	【到達目標】 難病とは何か、主要な内臓・皮膚・血液系の難病について理解できる。 【授業内容】 難病の種類・進行段階期による支援の課題・心理的状況・介護上の留意点
10	【到達目標】 障害者総合支援法のポイントが理解できる。 【授業内容】 障害者総合支援法の体系・給付の内容・利用の手続など。
11	【到達目標】 社会資源の利用・家族支援について理解できる。 【授業内容】 補装具支給制度・レスパイトサービスの定義・相談支援など。
12	【到達目標】 障害者の虐待防止と権利擁護について理解できる。 【授業内容】 障害者虐待防止法・虐待の定義、身体拘束・障害者差別解消法など。
13	【到達目標】 障害のある人に対する介護の基本視点について理解できる。 【授業内容】 障害者の自立を促す要素・エンパワメント・ストレングスモデルなど。
14	【到達目標】 1年間を振り返り、障害の理解を深めることができる 【授業内容】 1年間の振り返り 定期テスト対策
15	【到達目標】 これまでの授業の振り返り。わからない問題の洗い出し、自身の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期テスト・解説

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	こころとからだのしくみ Organization of mind body's	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	奥畑　幸一郎
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総時間（単位）	30時間	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日　1限

【実務経験】**（担当する授業科目に関連した実務経験）**
看護師として、病院で手術室・呼吸器、泌尿器、脳神経の内科病棟での経験を持つ。

【授業の学習内容】**（どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか）**
【授業の学習内容】
本科目は、介護の根拠となる人体の構造や機能を学ぶ。介護を行う上で、対象の安全への留意点や心理的側面への配慮について理解を目指していく。手術室勤務において、からだの構造を直に見た教員自身の経験を活かし、からだの中のことをイメージ出来るようにする。また、病棟で経験した医療支援や命を守る支援の事例から具体的に分かりやすく、からだとこころのしくみを介護の現場や学習者自身こととしても使える知識にしていく。

【到達目標】
介護サービスを提供する際の根拠を、こころとからだのしくみから述べることができる。
こころとからだのしくみが、生活行動に結びつき、その基盤となっていることが理解できる。
異常の早期発見や危険予測の上で、対応や医療職との連携について理解できる。

【使用教科書・教材・参考書】
・「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」（中央法規）
・「介護福祉士国家試験受験ワークブック（中央法規）

【授業外における学習】
介護・医療における専門的用語は予め教科書を読み予習をすること。また授業後もノートやプリントを振り返り見返す等の復習し、学んだことを身につけること。

1	【到達目標】 血液循環のしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 心臓の構造としくみ 体（大）循環と肺（小）循環など	9	【到達目標】 食事に関連したこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 栄養素 摂食嚥下のプロセス
2	【到達目標】 からだに必要な栄養を吸収する消化器系のしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 消化器官の構造としくみ 便の生成と観察など	10	【到達目標】 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 入浴・清潔の意味と入浴に必要な身体運動 皮膚の機能など
3	【到達目標】 尿を作り、からだから老廃物を排出する泌尿器系のしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 泌尿器器官の構造としくみ 前立腺肥大と神経因性膀胱など	11	【到達目標】 排泄に関連したこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 尿便失禁の種類とケア・下痢と便秘 人口膀胱と人工肛門
4	【到達目標】 からだの機能を調整する内分泌系のしくみと新たな生命を育む生殖器系のしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 内分泌器官のしくみ 生殖器機関のしくみ	12	【到達目標】 国家試験に向けての総まとめ 【授業内容】 こころとからだのしくみに関する問題について、解答し、解説を作成
5	【到達目標】 身じたくに関連したこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 身支度に関する部位の役割	13	【到達目標】 国家試験に向けての総まとめ 【授業内容】 こころとからだのしくみに関する問題について、解答し、解説を作成
6	【到達目標】 身じたくに関連したこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 身支度と関連する疾病と障害	14	【到達目標】 国家試験に向けての総まとめ 【授業内容】 こころとからだのしくみに関する問題について、解答し、解説を作成
7	【到達目標】 移動に関連したこころとからだのしくみについて復習し、知識を確立することができる。 【授業内容】 姿勢・歩行 転倒の要因と骨折・疾患に伴う歩行の特徴	15	【到達目標】 これまでの授業で学習したことをもとに、問題に答えることができる。 分からない問題の洗い出しを行い、自分の課題を見つけることができ 【授業内容】 定期試験
8	【到達目標】 前半で学んだ知識を確認することができ、不得意なところを見つけ自己学習につなげることができる。 【授業内容】 中間試験		

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）

科目名（英）	医療的ケア	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	白井良江
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総単位時間	52時間	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日　2 限

【実務経験】
大学病院内分泌代謝科・訪問看護・有料老人ホームに勤務し、看護師として25年以上の経験を持つ。

【授業の学習内容】
本科目は、平成23年から、医師の指示の下、喀痰吸引や経管栄養が介護福祉士の業務として位置づけられた医療的ケアの意義を学び、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう必要な知識・技術を習得する。看護師として、日々行っている喀痰吸引・経管栄養の実務経験をいかして、解剖生理学的な基礎知識・実施手順・留意点・緊急時の対応について伝える。

【到達目標】
医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識を修得することができる。

【使用教科書・教材・参考書】
最新介護福祉士養成講座　医療的ケア中央法規・見て覚える介護福祉士国試ナビ2022中央法規・介護福祉士国家試験受験ワークブック2022上下中央法規

【授業外における学習】

回	授　業　概　要	回	授　業　概　要
1	【到達目標】 介護保険法、障害者総合支援法、健康保険法、学校保健法について理解することができる。 【授業内容】P2～P27 社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度	9	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 喀痰吸引と経管栄養の実施手順と留意事項
2	【到達目標】 感染予防の基礎知識　消毒法　滅菌と消毒の違いが理解できる。 【授業内容】P62～P78 清潔保持と感染予防	10	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第35回　34回問題　解答解説
3	【到達目標】 身体・精神の平常状態　バイタルサインとその見方　急変状態とその対応が理解できる。 【授業内容】P80～P94 健康状態の把握　バイタルサイン　急変状態について 脈拍測定をしてみよう	11	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第33回　32回問題　解答解説
4	【到達目標】 人工呼吸や子供の吸引について理解できる。 吸引を受ける利用者や家族の気持ちが理解できる。 【授業内容】P107～P126 人工呼吸と吸引　子どもの吸引について　吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	12	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 第31回　30回問題　解答解説
5	【到達目標】 呼吸器系の感染と予防、喀痰吸引により生じる危険事故の安全確認、喀痰吸引にともなうケアが理解できる。 【授業内容】P126～P138　P159～P163 呼吸器系の感染と予防、喀痰吸引により生じる危険の種類とヒヤリハットアクシデント、痰を出しやすくするケア　体位のケア　口腔ケア	13	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 国家試験直前の重要項目の確認
6	【到達目標】 半固形栄養剤による経管栄養について理解できる。 【授業内容】P181～P182　P268～P278 経管栄養で注入する内容について 経管栄養のケアの実施の手引き	14	【到達目標】 国家試験問題の復習 【授業内容】 国家試験の解答解説と一年間のふりかえり
7	【到達目標】 医療的ケア全体の知識を深める。喀痰吸引と経管栄養について理解できる。 【授業内容】 喀痰吸引と経管栄養の実施手順と留意事項	15	【到達目標】 医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、学習内容の確認をする。 【授業内容】 定期試験
8	【到達目標】 バイタルサイン、感染予防、介護保険法など喀痰吸引経管栄養の実施手順以外の知識の確認。 【授業内容】 中間試験		

【特記事項】

【評価について】
筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価

科目名（英）	Growing up academy (後期)グローイングアップアカデミー	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	奥畑
学科・コース	介護福祉士科	授業形態	講義	総単位時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日・1，2限

【授業の学習内容】
国家試験に向けて100%の合格を目指して学習する習慣を身に着ける。
過去問題や、模擬問題、通常授業の学習を繰り返し行うことで、効率よく自分にあった学習方法を見つけることができる。
卒業して、職業人になった後も学びは続くので、そのときの力にすることができる

【到達目標】
クラス全体で協力しながら、学習の習慣をつけることができる
国家試験までカウントダウンが始まる中で、誰一人漏れることなくモチベーション維持することができる

【使用教科書・教材・参考書】
各教員担当から指示がある

【授業外における学習】
各担当教員から指示がある

回	授業概要	回	授業概要
1 10/11	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 吉江先生　人間関係とコミュニケーション　コミュニケーション技術	9 12/6	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 保住先生　障害の理解
2 10/18	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 吉江先生　人間関係とコミュニケーション　コミュニケーション技術	10 12/13	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 保住先生　障害の理解
3 10/25	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 吉江先生　人間関係とコミュニケーション　コミュニケーション技術	11 12/20	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 保住先生　障害の理解
4 11/1	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 奥畑先生　こころとからだ　発達と老化の理解	12 1/10	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 保住先生　障害の理解
5 11/8	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 奥畑先生　こころとからだ　発達と老化の理解	13 1/17	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 奥畑先生、保住先生、田村　クラス毎の授業
6 11/15	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 奥畑先生　こころとからだ　発達と老化の理解	14 1/31	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 田村
7 11/22	【到達目標】 ①国家試験対策授業の内容・流れを理解する。 ②国家試験問題演習に挑戦し、問題の解き方のコツを学ぶ 【授業内容】 奥畑先生　こころとからだ　発達と老化の理解	15 2/7	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験(筆記試験、実技試験)に望むことができる 【授業内容】 定期試験 田村
8 11/29	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、試験(筆記試験、実技試験)に望むことができる 【授業内容】 定期試験		

【特記事項】

【評価について】

筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
〇成績評価
点数100～90点＝A評価
点数　89～80点＝B評価
点数　79～70点＝C評価
点数　69～60点＝D評価
点数　59点以下＝F評価
※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）